



# 下仁田中学校だより

【教育目標】 愛する 考える 行う

Webページ：<http://www.shimonita.ed.jp/shimonita-jhs/>

E-mail：shimochu@shimonita-kyouiku.ed.jp

令和3年10月27日発行

第8号

校長 山田 知利

## 生徒会本部役員が決定！

10月8日（金）に選挙が行われ、生徒会本部役員が決定しました。今回の選挙では、たくさんの立候補者が、全校生徒のために、学校をよりよくしようと名乗りを挙げてくれました。「あいさつがとび交う学校」、「みんなが明るく楽しい学校」、「笑顔で過ごせる学校」など、目指す学校や頑張ることなど、素晴らしい抱負を語ってくれました。みんなのために勇気をもって立候補してくれたみなさんに敬意を表したいと思います。

そして、期待と願いをたくされた〇〇〇〇〇会長をはじめとする生徒会本部役員のみなさん、全校生徒及び全教職員がみなさんの活躍を期待しています。選ばれた自覚と責任を胸に、全校生徒のために力を精いっぱい発揮して、この下仁田中学校をより良い学校にしていってください。よろしくお祈りします。

また、〇〇〇〇前会長をはじめとする前生徒会本部役員の方皆さん、昨年全校生徒が充実した学校生活を過ごせるように、朝早く登校して明るく挨拶運動をしてくれたり、集会での運営はもちろん、企画、準備、片付けなど他の生徒の見えないところで活躍したりなど、みんなのためにいろいろな場面で活躍してくれ、ありがとうございました。新しいメンバーがみなさんの活躍をしっかりとつないで、下仁田中学校の伝統を築き上げてくれると思います。



生徒会本部役員

### 頑張っています、下中生！！

☆生徒会本部役員 ○は学年  
会長：〇〇〇〇〇さん② 副会長：〇〇〇〇〇さん②  
書記：〇 〇〇さん②、〇〇〇〇〇さん①  
会計：〇〇〇〇〇さん②、〇〇〇〇〇さん①

☆富岡甘楽中体連駅伝競走大会  
10月13日（水）Yokowo 富岡市民陸上競技場において、駅伝競走大会が行われました。雨の降る中、選手たちは自分の力を発揮して、ゴールまで一生懸命走りきる姿が輝いていました。また、全校生徒が、横断幕にメッセージを書いてエールを送ってくれました。

（男子）  
1区〇 〇〇さん③ 2区〇 〇〇さん②  
3区〇〇〇〇〇さん① 4区〇〇〇〇〇さん③  
5区〇〇〇〇〇〇さん② 6区〇〇〇〇〇さん③  
補員〇〇 〇さん②、〇〇〇〇〇さん②  
〇〇〇〇〇さん②  
（女子）  
1区〇〇〇〇〇さん③ 2区〇〇〇〇〇さん①  
3区〇〇〇〇〇さん① 4区〇〇〇〇〇さん①  
5区〇〇〇〇〇さん③  
補員〇〇〇〇〇さん①、〇〇〇〇〇さん①



### <11月の主な行事予定>

日(曜)	行事予定
1(月)	※放課後部活動なし(11/1~12/31)
2(火)	学校朝礼
3(水)	【文化の日】
4(木)	三者面談(~11/12)
5(金)	漢字検定
6(土)	土曜スクール
8(月)	救急蘇生法(2年)
9(火)	表彰朝礼
11(木)	スクールカウンセラー来校
13(土)	土曜スクール
16(火)	生徒会朝礼
17(水)	生徒会専門委員会
18(木)	期末テスト1
19(金)	期末テスト2 認知症サポーター研修(2,3年)
22(月)	事務処理日(4時間) 人権集中学習(~12/3)
23(火)	【勤労感謝の日】
24(水)	学年朝礼
25(木)	学校保健委員会
26(金)	ICT活用促進プロジェクト公開授業
29(月)	いじめ防止講演会
30(火)	学校朝礼

■3年生は進路選択に向かう、1・2年生は代替わりで活躍していくこの大切な時期に、エールを込めて、稲盛和夫さんの『人生の方程式』の話を紹介します。

人生・仕事の結果 = 考え方 × 熱意 × 能力

稲盛和夫さんは、京セラや KDDI の基の会社を設立したり、日本航空を再建したりした人です。稲盛さんは、裕福ではない家に生まれ、若いときは中学や大学の入学試験、そして就職試験にことごとく失敗したそうです。多くの挫折を経験し、人並み程度の「能力」しか持たない自分が、人並み以上のことを成し遂げるにはどうすればよいか、悩んだ末に見出したのがこの方程式だそうです。

「能力」というのは、頭がいいというだけでなく、運動神経が発達しているとか、健康で丈夫であるといった身体的な能力を含めたもので、多くは生まれつき備わっているものだそうです。もちろん、高めることができます。

「熱意」とは、「努力」と言い換えられ、「能力」と異なり、自分の意志で決めることができるので、稲盛さんは、能力はさほど高くはないかもしれないが、熱意だけは誰にも負けないほど持とうと考えたそうです。自分には能力がないということを自覚して、誰よりも情熱をもって努力したほうが、はるかに素晴らしい結果を残すことになるはずだと考えました。

「考え方」とは、人間として生きる姿勢のことで、この「考え方」こそが、最も大事な要素で、方程式の結果を大きく左右することになるそうです。それは、「能力」と「熱意」が0～100点までであるのに対して、「考え方」には、悪い「考え方」から良い「考え方」まで、マイナス100点～プラス100点までの大きな振れ幅があるからだそうです。

どんなに才能があったとしても、どんなに熱心に仕事をしたとしても、この「考え方」が間違っていたのではマイナスを掛けることになりまますから、人生の結果は決してよいものにはなりません。

たとえば、うまくいかない理由を他人や環境のせいにして、言い訳や不平不満ばかり言う。人を妬（ねた）み、世を嫉（そね）み、まともな生き方を否定する。そのような考え方を持つなら、結果はマイナスとなってしまいます。一方、大変な苦難に遭遇（そうぐう）したとしても、それを真正面から受け止める。そして、いつかきっと自分にも明るい未来が来ると信じ、人生を前向きに明るい心で生きていこう、一生懸命さらに努力を重ねていこう、というプラスの「考え方」をすれば、多少能力が劣っていたとしても素晴らしい人生の結果を得ることができそうです。

稲盛さんは、「考え方」について、次のように記しています。

プラスの「考え方」とは

常に前向きで、肯定的、建設的である。  
皆と一緒に仕事をしようとする協調性を持っている。  
真面目で、正直で、謙虚で、努力家である  
利己的ではなく、「足る」を知り、感謝の心を持っている  
善意に満ち、思いやりがあって優しい。

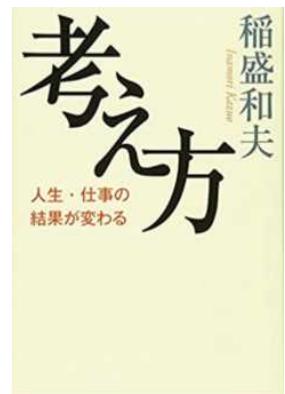
マイナスの「考え方」とは

後ろ向きで、否定的、非協力的である。  
暗く、悪意に満ちて、意地が悪く、他人を陥（おとし）れようとする。  
不真面目で、嘘つきで、傲慢（ごうまん）で、なまけ者。  
利己的で強欲（ごうよく）、不平不満ばかり。  
自分の非を棚（たな）に上げて、人を恨（うら）み、人を嫉（そね）む。

生まれつきの能力が高いか低いかというのは、長い人生における成功にはほとんど関係がないと、稲盛さんは言っています。能力が高くないとしても、嘆（なげ）かず、恨（うら）まず、腐（くさ）らず、妬（ねた）まず、愚痴（ぐち）をこぼさず、誰にも負けない努力を重ねれば、素晴らしい人生を送ることができる。そのことを稲盛さんは人生の鉄則と言っています。

自分の人生を素晴らしいものになりたいなら、幸運であれ、災難であれ、人生で直面することに対して、プラスの「考え方」に基づいて行動することだそうです。実行していくことは容易なことではありませんが、常日頃より、自ら正しい「考え方」に基づいた判断をしていけば、どんな局面でも迷うことはありません。いつも正しい行動がとれ、結果も素晴らしいものになっていくはずで

『考え方』（稲盛和夫著）より



11月2日（火）～12日（金）の間、三者面談でお世話になります。  
生徒一人一人のよりよい成長や進路の実現につなげるために、お時間をいただきたいと思います。お忙しい中とは存じますが、どうぞよろしくお願ひいたします。